



Illustr. Hiroshi Tanaka

NEWS

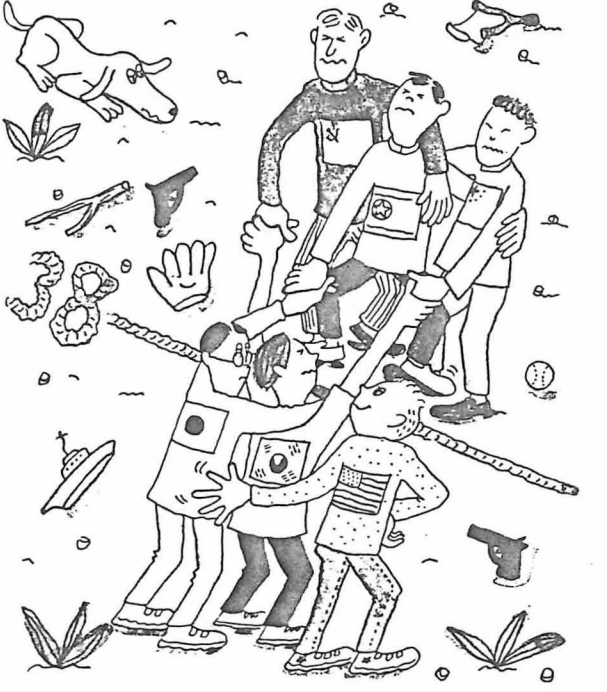
【平壤発】9月28日、朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)を訪問中の自民・社会両党合同代表団は、朝鮮労働党との共同宣言に調印した。宣言の骨子は、団長の金九元副総理と金日成主席とのさし金談で決着したもので、「戦後45年間の損失」について、謝罪と償いをする。②の11月に両国の国交交渉を開始する。などを盛り込んでいる。懸案の第18富士丸船問題については、すでに金主席が、紅粉船長ら2人の釈放を約束しており、日朝関係は正常化へ向け、一気に進展することになった。

【ニューヨーク発】ソ連のシェワルナゼ外相と韓国の崔浩中外相は9月30日、国連本部で会談、同日付で直ちに国交を樹立することに合意した。当初、来年1月1日の国交が予定されていたが、韓国側の強い要請で、急きょ3カ月も繰り上げられたものである。

【平壤発】小沢自民党幹事長、土井社会党委員長を団長とする両党代表団は10月11日、朝鮮労働党に対して「第18富士丸船問題の引き渡しに對する謝意」を表明した。このなかで両党は「2人が共和国の法律を二度と侵害しないようにし、帰国後、2人の言動が日朝友好発展に支障を与えることのないようあらゆる努力をする」と約束している。従来の日本政府の主張との食い違いや、憲法(表現の自由)との関連で、今後議論をよぶものと思われる。

PLASWON・NEWS

【サンディエゴ発】米国防務省のR・ソロン次官補は10月30日同地で講演、北朝鮮が国際原子力機関の査察を受け入れれば、関係改善に述べた。米国防務省は、テロ政策の放棄、南北対話など5項目を求めているが、今回この条件をゆるめた。同日北京でも双方の外交官が一月半ぶりに接触しており、米朝関係の今後に明るい見通しが開かれた。(半年後にPLASWON・解説あり)



Illustr. Hiroshi Tanaka

もめちゃうんだよなあ……このゲーム始めると。

ニュースの時間です

北朝鮮と日本、韓国と中ソ。この新しい関係はどくなこころ?

橋爪大三郎

新連載

日本と北朝鮮。突然の関係改善の舞台裏は

ここへ来て朝鮮半島情勢の展開がめまぐるしい。日が離せないわけですが、舞台裏はどうなっているのか? 北朝鮮が日本に接近する理由。これはもうはつきりしている。まず国内経済が、火の車もいところ。い

大ボカばかりの日本の政治家。国民は黙って見過ごさない

【平壤発】小沢幹事長が後始末に行つた。Caz 土井委員長と一緒したね。橋爪 ところが、これがまた大ボカ。富士丸船問題、2人の釈放と引き換えに、とんでもない約束をさせてしまった。

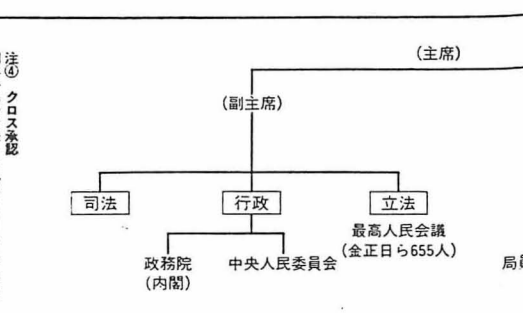
PLASWON・解説

北朝鮮は統一に向け、立場を有利にするため、一枚でも多くカードがほしい。核兵器も切り札のひとつです。でも、経済的にも追い詰められ、原爆が完成するまで保てようがない。その足元をすくしたアメリカが、核兵器を放棄させれば援助してやるよ、とサインを出した。今ならこれを呑み、と欲しているわけ。見返りに北朝鮮は、政権の安泰を求めている。水面下の綱引きが続いています。

どじやあ日本は、なんであわてて北朝鮮なのか。金丸、小沢みたいな自民党の大将がつきつき平壤を訪問したのはどうしてか。これは、アメリカの差し金です。だいたいこういう重要なことを日本が、アメリカ抜きで決めるなんて考えられない。しかも海軍省が、ピポツパとプツシュホンをかけて、相談したに決まっている。日本と北朝鮮の関係が改善されたほうが、アメリカに都合がいいんです。

あわてて小沢幹事長が後始末に行つた。Caz 土井委員長と一緒したね。橋爪 ところが、これがまた大ボカ。富士丸船問題、2人の釈放と引き換えに、とんでもない約束をさせてしまった。

条件をつけたら逆効果ですよ。って。Caz もつひと、韓国が大急ぎでソ連と国交を樹立したのは、なぜなんですか? 橋爪 この11月に、日本と北朝鮮の国交交渉が始まりましたからね。日本は「償い」の何億ドルかを、すぐにも払ってしまおう。その外貨で北朝鮮が、武器弾薬をたっぷり買ってもいい。韓国はその前に、どうしてもソ連を味方につけておきたかった。来年1月1日には遅すぎない。軍事バランスを考え、万に備えるのが、安全保障なので。Caz なるほど。



ヘレナ・リー THE DAILY YOMURI 記者 私はどう思います 今向、めまぐるしいスピードで進んだドイツの統一。日本にいる私も含めた韓国の国民にとって、とてもうれやましい出来事でした。当然世界は「次は朝鮮半島」と注目しているでしょうが、当の韓国の人たちは、期待を膨らませつつも統一への道はドイツよりかなり険しいと感じているようです。

JO-CAZ-TV キャスター はしづめ・だいきぶろう '48年神奈川県生まれ 社会学者。東大大学院修了。現在東工大工学部助教授。今回あつてJO-CAZ-TVの社会部を担当します。よろしくひらの・ひろし '59年大阪生まれ 政治学者。早大卒。学習院大学大学院修了。現在尚学舎塾長。ワグナーのオーヘウ教育が趣味。次回から登場の予定です



NEWS

「バグダッド発」預言者モハメッドがフセイン大統領の夢枕に立ち、イラクの誤りを指摘したという奇妙な噂が、このところ同地に流されている。10月21日発行の新聞によると、モハメッドは「サダムよ、汝のロケットは正しい方向を向いていない」と述べた。フセインが「正しい方向はどちらでしょうか」と問うと、「お前が知っているはずだ」と答えて姿を消したという。クウェート撤退を控えたイラク情報当局の心理作戦なのか、イスラエル攻撃を予告する脅しなのか、西側筋もその真意を測りかねている。

「ハリ発」ミッテラン仏大統領との会見を終えたゴルバチョフソ連大統領は10月29日、湾岸情勢をめぐって次のように語った。①バグダッドでフセイン大統領と会見したフセインがフセインの連絡による、最近イラク側の強硬な態度に変化のまじりが見える。②ソ連はアラブ内部での問題解決を重視する。③そのため、アラブ各国の和平会議を開くべきである。④サウジアビアが、そのイニシアチブをとることができたらどう。

「バグダッド発」イラクを訪問中の中曽根元首相は11月4日、フセイン大統領と

会談した。大統領は、日独のうち、国中ソのうちの国の、計を国がイラクに武力行使しないことを保証すれば、人質全員を解放するとの考え方を示すとともに、日本人質の一部解放も約束した。解放された日本人は、中曽根元首相一行のチャーター機に同乗して、7日には成田に到着の予定。

Illustration by Hiromi Sagira



二ユーエスの時間です

緊張の続く中東情勢。戦争になるの? それとも和平が成立?

今回のキヤスター 橋爪大三郎

JO-CAZ-TV キヤスター

はしづめ・だいさぶろう '48年神奈川県生まれ、社会学者、東大大学院修了。現在、東工大工学部助教授。日本ポピュラー音楽学会の事務局も兼任中。
ひろの・ひろし '59年大阪生まれ、政治学者、早大卒、学術院大学院修了。現在向陽学園大講師。乙女座の0型。これが私の性格をすべて物語っています。

仏ソの仲介役を得て 和平の可能性、80%

戦争になるのかどうか、楽観論と悲観論が入り混じっているけれども、見通しはどうなんだろうか?
ズバリ言って、和平の可能性が80%、いまその詰め作業にかかっているとみられる。と見てよいでしょう。

アメリカが今向、いち早く出兵したのは、軍事的圧力をかけない限り、イラクをクウェートから撤退させることができないと考えたから。世界の原油生産量の70%を占める、サウジアラビアなど湾岸一帯の諸国が完全にイラクの勢力下に入ってしまったら大変です。これを見過ごすわけにはいかなかったのです。
そして、イラクは思いあまって人質作戦に出た。宿敵イランとも仲直りして後顧の憂いを絶ち、百万の地上軍が防衛を固めています。アメリカもイラクも、戦争なんかやりたくないんです。本当は、話し合おう、なんとか解決したい、なるべく有利な条件を相手に呑ませるためには、戦争も辞さないという強い構えが必要だ。だから、戦争するぞ、するぞと叫んでいるわけ、その割には案外裏で和平工作が進んでたりするんです。
で、だれにプッシュとフセインの仲介役、

Q&A

米が10万人増派したわけは? 圧倒的な軍事力を示すためです

この点を見たいという気持ちもあるでしょう。サウジアラビアにしてみれば、イラクに攻め込まれたら大変と、あわててアメリカ軍に来てもらったわけですが、本音を言えば、早く出て行ってほしい。このところイラクが攻めてくる可能性が薄らいだので、それならイラクと話し合おうという空気が生まれてきました。サウジアラビアとイラクの間で話がついてしまえば、アメリカは戦争の口実がなくなってしまう。
アメリカの狙いは、最初から3つありました。①イラクをクウェートから追い出す、②フセイン大統領をおとす、③今回の湾岸危機をパレスチナ問題に飛び火させない。

いって和平解決を図るには、どれかをあきらめないといけない。とくに、ソ連やフランスが提案したような「中東包括和平会議」で、イラクと他のアラブ諸国が話し合えば、パレスチナ問題も必ず結んでいきます。そこを見越して、イラクも人質の全員解放を約束し、さらに揺さぶりをかけてきています。
イラクのベースは、あきらめたらいい、そこでプッシュは思い切った、戦争を覚悟で、イラクの譲歩を迫るパキ作戦に出ました。うっかりするとほんとに戦争ですが、なんとか各国をとりまとめ、国連決議のお墨付きをもたせて、アメリカ主導で押し切るはらです。

「バグダッド発」イラクを訪問中の中曽根元首相は11月4日、フセイン大統領と会談した。大統領は、日独のうち、国中ソのうちの国の、計を国がイラクに武力行使しないことを保証すれば、人質全員を解放するとの考え方を示すとともに、日本人質の一部解放も約束した。解放された日本人は、中曽根元首相一行のチャーター機に同乗して、7日には成田に到着の予定。

「ハリ発」ミッテラン仏大統領との会見を終えたゴルバチョフソ連大統領は10月29日、湾岸情勢をめぐって次のように語った。①バグダッドでフセイン大統領と会見したフセインがフセインの連絡による、最近イラク側の強硬な態度に変化のまじりが見える。②ソ連はアラブ内部での問題解決を重視する。③そのため、アラブ各国の和平会議を開くべきである。④サウジアビアが、そのイニシアチブをとることができたらどう。

「バグダッド発」イラクを訪問中の中曽根元首相は11月4日、フセイン大統領と会談した。大統領は、日独のうち、国中ソのうちの国の、計を国がイラクに武力行使しないことを保証すれば、人質全員を解放するとの考え方を示すとともに、日本人質の一部解放も約束した。解放された日本人は、中曽根元首相一行のチャーター機に同乗して、7日には成田に到着の予定。

「ハリ発」ミッテラン仏大統領との会見を終えたゴルバチョフソ連大統領は10月29日、湾岸情勢をめぐって次のように語った。①バグダッドでフセイン大統領と会見したフセインがフセインの連絡による、最近イラク側の強硬な態度に変化のまじりが見える。②ソ連はアラブ内部での問題解決を重視する。③そのため、アラブ各国の和平会議を開くべきである。④サウジアビアが、そのイニシアチブをとることができたらどう。

岩井秀子 国際大学中東研究所

私はこう思います
今回の湾岸情勢の行方は、もっぱら和平解決が戦争かオプショで決まると見られていますが、その前に、中東の情勢をどうして今、戦争状態にまで悪化させたのか、その原因を明らかにする必要があります。
この中東情勢の悪化は、イラクのクウェート侵襲とその併呑、湾岸に中東のフセイン政権が誕生したことが、中東の情勢を悪化させた原因です。
中東の情勢を悪化させた原因は、イラクのクウェート侵襲とその併呑、湾岸に中東のフセイン政権が誕生したことが、中東の情勢を悪化させた原因です。
中東の情勢を悪化させた原因は、イラクのクウェート侵襲とその併呑、湾岸に中東のフセイン政権が誕生したことが、中東の情勢を悪化させた原因です。

注① 中東包括和平会議
注② 中東包括和平会議
注③ 中東包括和平会議
注④ 中東包括和平会議

注① 中東包括和平会議
注② 中東包括和平会議
注③ 中東包括和平会議
注④ 中東包括和平会議

注① 中東包括和平会議
注② 中東包括和平会議
注③ 中東包括和平会議
注④ 中東包括和平会議